

燻り

岩花陸

破綻から始まる物語

絵のない絵本、命のエラッタ

プロローグは読み飛ばした

そのくせに

玩具を片付けるのが嫌いで

思い出とお別れが出来なくて

くすんだフィルムが積み重なる

全ては予定調和

病名は付かなかった

ヴォイニツチの楽譜で奏でる

あの旋律で絞め殺して

花になって散りたいの

徒花がいい

墓標に供えられる、実のない花が

それだけで良かったのに

終止符を夢見たはずが

延命治療は成功

ゾンビの誕生祭

負け戦がお上手なようで

矢印は苦手

十字架にはなれない

どこにも行けずに転がり続けて

下流の石になった